

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月20日		記入者	内線	2593
部 名	保健福祉部	課 名	保健福祉総務課	課長名	江藤 弘
事務事業名	社会福祉審議会				
予算上の事務事業名	社会福祉審議会経費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		11110		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第1節 福祉文化の創造とバリアフリーの推進				事業開始年度
施 策 名	第1施策 総合的な福祉施策の推進				平成15年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
社会福祉法第7条～13条、相模原市社会福祉審議会条例・同施行規則					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 審議会・委員会・協議会 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
本市における社会福祉の推進を図るとともに、社会福祉事業の公明かつ適正な実施の確保及び社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図ることを目的に、社会福祉に関する審議会を置き、社会福祉に関する調査審議を行う。				社会福祉審議会委員	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
社会福祉審議会(全体会)の開催0回 民生委員審査専門分科会の開催4回 身体障害者福祉専門分科会の開催1回、同審査部会の開催3回 児童福祉専門分科会の開催4回 高齢者福祉等専門分科会の開催3回  組織 委員35人以内で組織する。 委員 中核市の議会の議員、社会福祉事業に従事する者、学識経験のある者のうちから、中核市の長を任命する。					
6 関連・類似事業や他市の状況					
法令に基づき、都道府県、指定都市、中核市において実施					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事 業 費	0	4,232	5,810	6,109	6,109
一般財源	0	4,232	5,810	6,109	6,109
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	197	198	198	198
事業コスト合計(a)	0	4,429	6,008	6,307	6,307
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	社会福祉審議会経費			対象名称(単位)	開催回数(回)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	0	4,232	6,008	6,109	6,109
対象数	0	37	37	37	37
単位あたり経費(円)		114,378	162,378	165,108	165,108
前年度比			1.42	1.02	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	審議会等の開催回数（回）	指標式と指標の説明		審議会及び各種分科会の開催回数の合計	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	0.0	14.0	14.0		
目標	0.0	14.0	14.0	15.0	15.0
目標達成度		1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	審議会等委員の出席率（率）	指標式と指標の説明		出席委員数（延べ人数）÷（開催回数×委員定数）×100	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	0.0	73.0	75.8		
目標	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
目標達成度		73.0	75.8		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[	]：良好な状態を維持する事業			
	[	]：概ね良好な状況である事業			
	[	]：見直しを行う必要がある事業			
	[	]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		法令により実施が義務付けられていることにより、事業実施及び組織、委員構成に関しては現状を維持するものとする。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 福祉施策に関する、より効率的な審議を行うために、極力審議事項を簡素化するなど、集中的に議論を行うことのできる会議運営を行う。			14 課題として認識されたこと 各専門部会における調査審議の更なる充実化		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			